



# 《 事故の多発箇所を安全に 》

## 平成17年度の代表的な取組みとその成果

**Plan** 「事故危険箇所」や「あんしん歩行エリア」で重点的に対策を実施します

**Do** ■泉中央駅周辺で対策を実施

仙台市泉中央地区（あんしん歩行エリア指定）は歩行者通行量、自動車交通量ともに多く、事故が発生しやすい状況であるため、地下通路、乱横断防止柵の設置や歩道のバリアフリー化を実施しました。

〈あんしん歩行エリア「泉中央地区」〉

地下自由通路

乱横断防止柵

〈その他〉歩道のバリアフリー化（点字ブロック、段差の解消 等）

※「事故危険箇所」、「あんしん歩行エリア」についての詳細は  
→<http://www.sendai-mlit.go.jp/hp/topics/writer/pdf/03071101.pdf>

**Check** 平成17年度評価

■宮城県内の事故件数は増加

東北6県全体の死傷事故件数は横ばいで推移していますが、宮城県では増加傾向にあります。あんしん歩行エリアや事故危険箇所での対策推進が求められます。

年度	宮城県	東北6県
H13	1.00	1.00
H14	1.02	1.00
H15	1.05	1.01
H16	1.11	1.01
H17	1.11	0.99

▲死傷事故件数の伸び（H13基準）

平成17年度の事故発生状況については、次年度に検証を行います。

**Action** 事故発生件数以外の視点からも事故発生要因を分析し、対策を検討します

## 平成18年度の代表的な取組み

**Plan** 国道45号蛇田交差点で交差点形状の改良を実施

【蛇田交差点（石巻市 国道45号）】

〈計画平面図〉

巻き込み円を小さくし交差点をコンパクト化 → 流入速度を抑制

右折レーンの増設 → 右折車混雑の解消

左折導流路を廃止し、交差点をコンパクト化 → 左折車も信号抑制

左折導流路を廃止し、交差点をコンパクト化 → 左折車も信号抑制

〈その他の主な対策箇所〉

- ◎国道108号「古川駅前大通歩道」 歩道バリアフリー化
- ◎（一）泉ヶ丘熊ヶ根線「環ノ沢工区」 視距改良
- ◎（主）井土長町線「二木工区」 歩道設置

**採点を** お願いします!

◆上記のような地域の実情に即した事故抑止策への採点

A ~ E を選択してください

A 十分整備されている B どちらともいえない C どちらともいえない D どちらともいえない E もっと進めるべきだ

はがき問4 ⑤欄へ

# 《 地域の実情に即した工夫で事故を低減 》

## 平成17年度の代表的な取組みとその成果

**Plan** その他の事故多発箇所でも、事故抑制に寄与する対策を積極的に実施します

**Do** ■中央分離帯開口部の閉鎖

国道4号名取市本郷地区で中央分離帯開口部の閉鎖により事故の抑止を図りました。

H14~H16の3ヶ年で死傷事故23件

※死傷事故件数は、閉鎖対象箇所を含む直近の交差点間の発生件数

平成17年度の事故発生状況については、次年度に検証を行います。

**Check** 平成16年度評価

国道4号古川地区では、平成15年度、16年度に中央分離帯開口部での事故をなくすため開口部11箇所中10箇所を閉鎖し、事故の抑止が図られました。しかし、中央分離帯開口部の閉鎖といった利便性に関わる対策の実施に当たっては、住民との合意形成が必要であり、今後の対策は合意形成を図りながら進めていくことが重要です。

年間死傷事故件数

閉鎖前 19件

閉鎖後 11件

約4割減

**Action** 地域住民や道路利用者の意見を取り入れた事故対策を検討します

## 平成18年度の代表的な取組み

**Plan** 国道4号荒町交差点では道路利用者として一体となって事故対策を検討します

荒町交差点では、自動車ドライバー側の立場、歩行者・自転車側の立場それぞれの利用者に対しアンケートを実施し、「危ない（ヒヤリ!ハット!）」と感じた状況を参考にしながら、今後の交通安全対策の検討を進めています。

H14~H16の3ヶ年で荒町交差点での死傷事故件数は27件。うち、人対車両の事故は5件

交通安全対策の一環として「国道4号荒町交差点」に對しての「あなたのヒヤリ!ハット!」体験をお聞かせください。

**採点を** お願いします!

◆上記のような事故多発箇所での事故抑止施策への採点

A ~ E を選択してください

A 十分整備されている B どちらともいえない C どちらともいえない D どちらともいえない E もっと進めるべきだ

はがき問4 ⑥欄へ